

第 71 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2017 年 10 月 2 日（月） 15:00～17:00

2. 場 所：東京理科大学 森戸記念館 第 2 会議室

3. 出席者（役職順/所属順、敬称略）

日高 邦彦（議長）、石川 孝重（副議長）、札野 順（幹事）、鎌田 潤一（幹事）、
石橋 邦夫（幹事）、本間 重一（委員）、桑江 良明（委員）、中野 智仁（委員）、
吉開 範章（委員）、本間 弘一（委員）、池田 駿介（アドバイザー）
山本 一彦（事務局）

4. 議題

- ①前回議事録(案)について（審議）
- ②第 1 3 回公開シンポジウム開催案内・参加募集（案）について（審議）
- ③倫理協議会 W e b 掲載実績について（報告）
- ④会員活動報告について（報告）
- ⑤会員からのその他情報（報告）
- ⑥次回第 72 回以降協議会日程について（再確認および決定）

5. 議事

- ①前回議事録案にて、議事内容の確認、審議を行い、原案は承認された。
- ②第 13 回公開シンポジウム（11 月 20 日（月）、13：00～ 森戸記念館第 1 フォーラム予定）
の最終の開催案内・参加募集（案）について審議した。コメント反映し、速やかに W e b 掲
載し、参加募集を進めることとした。
- ③倫理協議会 W e b 掲載実績について報告した。
- ④各学協会活動状況について、末尾の表の記載内容に基づき報告があった。
- ⑤会員からの情報として、2 件の資料を紹介した。
 - ・池田アドバイザー；公正研究推進協会（A P R I N）で進めている新たな e ラーニングの
概要の説明があった。
 - ・石橋幹事；公開シンポジウムの講師を依頼している江間氏からの情報（イベント開催等）
を紹介した。
- ⑥次回第 72 回以降協議会日程について以下を決定した。
 - ・次回、第 72 回協議会 11 月 13 日（月） 10：00～12：00 森戸記念会館第 2 会議室
 - ・次々回、第 73 回協議会 1 月 15 日（月） 15：00～17：00 森戸記念会館第 2 会議室

第71回技術倫理協議会（2017年10月2日）会員学協会活動報告

	学協会名	報告概要
1	電気学会	<p>(1) 8月22日 「第10回技術者倫理研修会」開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「近未来社会のデザインと技術者倫理」 <～誰が、何を、どのように意思決定したら良いのか～> ・講師&パネリスト 城山 英明 氏（東京大学）/山口 彰 氏（東京大学大学院） /島菌 進 氏（上智大学大学院） ＊マスコミ関係を含め、91名の参加。 （電気学会HP倫理委員会ポータルに概要速報版を掲載） ＊電気新聞コラム「焦点」に概要掲載。（8/29付） <p>(2) 8月22日 臨時の倫理委員会、9月13日、第41回倫理委員会を開催。トピックとしては「2018年3月開催予定の春の全国大会シンポジウム（於：九州大学）へテーマの決定ほか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ決定：「人工知能と社会を考える」 <p>(3) 9月13日の倫理委員会後、定例の小講演会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：(株)日立製作所 鉄道ビジネスユニットCTO堀江 哲 氏 「管理型から行動して学び取る革新型への変革」
2	電子情報通信学会	<p>(1) 9月14日、東京都市大学で開催された電子情報通信学会・ソサエティ大会において、「技術と社会・倫理」セッションを開催し、3件の発表と質疑を行なった。</p> <p>(2) 倫理事例集の公開に向けて準備中。</p>
3	土木学会	報告なし
4	日本化学会	報告なし
5	日本機械学会	<p>(1) 9月4日技術倫理委員会開催 WEB発信記事、学会倫理規定の英文化、学会倫理貢献賞の新設等について審議した。</p> <p>(2) 9月4日学会年次大会特別企画【市民フォーラム】「未来社会の幸せと倫理」開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演：慶應義塾大学前野隆司教授 ・全員参加型のワークショップ：ファシリテーター：東京理科大学 牧野恵美准教授
6	日本技術士会	<p>(1) 倫理委員会を8月14日に開催。以下の事項について審議・報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副委員長(2名)、各小委員長(啓発・綱領・情報)を指名し新体制がスタートした。前期の活動報告書に基づき、各小委員会・WGの所掌事項・課題を確認した。 ・倫理教育検討WGについて以下の報告があった。 これまでのブレインストーミング的な議論を終え、主査・幹事等限られたメンバーが中心となり「成果物」の叩き台作成に入った。また、WGの継続申請をすることとした。

		<ul style="list-style-type: none"> ・月刊「技術士」の倫理シリーズは、12月号から新たな企画として主要学会の技術倫理活動を紹介する。各部会を通じて関係の深い学会等に執筆を随時依頼中。 ・技術倫理協議会、日工教・技術者倫理調査研究委員会の活動状況を紹介した。 <p>(2) 10月20日の全国大会では、分科会の一つとして「技術者倫理」を取り上げるとともに、「技術者倫理情報交換会」を開催し、統括本部及び各地方本部の活動内容を相互に紹介し合う予定。</p>
7	日本原子力学会	<p>9月6日に委員会を開催。次回11月9日～10日（第100回）予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月14日に原子力学会秋の大会（北海道大学）で「災害に備えるために必要となる原子力関係者の倫理」と題し、企画セッションを開催。北海道電力の泊原子力発電所における安全性向上の取り組みとモチベーションの維持、日米の規制の比較、原子力安全に求められる倫理についての講演を基に、今後、原子力業界全体として何をなすべきかを考究した。 ・倫理規程の定期見直し（見直し方針：①読みやすさ、伝わりやすさを追及、②関係者のモチベーション維持に配慮、③社会との良い関係構築を配慮）を行っており、改定案に対する意見を公募（HP：http://www.aesj.or.jp/ethics/02_/02_06/）で2017/10/31まで受付）している。 ・原子力発電所再稼働にかかわる審査、承認事例に関する検討・協議を継続している。 ・日本学術振興会 先導的研究開発委員会「未来の原子力技術」（委員長：芹澤昭示）と相互交流の覚書を締結し、相互に協力・支援・交流していくこととした。 ・2018年春の大会（大阪大学）における企画セッションのテーマの検討を開始した。研究炉を保有する大学での安全文化、技術者倫理、教育、規制対応を軸にテーマを検討している。
8	日本建築学会	報告なし
9	日本工学教育協会	倫理綱領改訂に向けパブリックコメント募集中
10	日本非破壊検査協会	報告なし
11	日本マリンエンジニアリング学会	報告なし

以 上